

## 論点メモ

2019年6月

(公財)日本都市センター研究室

### 論点1 情報領域における業務の展望

- 都市自治体を取り巻く社会経済環境の変化
  - ・住民ニーズの変化と多様化
  - ・人的、財政的資源の制約
- 都市自治体における「ツール」としての情報
  - ・情報機器やシステムの高度化
  - ・AI、RPA、IoTの登場
  - ・証拠に基づく政策立案(EBPM)の要請

### 論点2 都市自治体の情報領域の人材に求められるスキルとコンピテンシー

- 基礎的な情報リテラシーの向上
  - ・情報セキュリティや個人情報保護に関する認識と理解
  - ・基礎的な資料作成能力
  - ・インターネットを利用した情報の収集と利用
- 各業務に関する知見や経験とモチベーション
  - ・都市自治体職員としてのキャリア
  - ・業務改善の意識と姿勢
- 情報技術に関する意欲と関心
  - ・情報技術へのアクセス性の確保
- 分野横断的な視野と関係者との調整能力

### 論点3 情報領域における人材確保・育成の方法

- 庁内での取組み
  - ・ノウハウの継承とOJT
  - ・原課と情報政策所管課・企画所管課および人事所管課の連携
- 自治体間連携の構築
  - ・人材の共同採用
  - ・人材の「評価」と「共有」
  - ・現場と業務の共有
  - ・都道府県との連携
- 研修の充実
  - ・既存の研修システムの検証
  - ・大学や民間企業等との連携
- 人事マネジメントの再構築
  - ・ノウハウの蓄積と分野横断的な視点の育成への配慮(個人のキャリアプランと組織の専門性担保)
- 個人のキャリア形成と自治体における人材確保の新しい仕組みの構築